

小野市議会だより

Ono city assembly



第374回 6月定例会

一般質問

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| こばやし ちづこ
・ 小林千津子 | かしま じゅん
・ 加島 淳 |
| ふじ わら あきら
・ 藤原 章 | まえ だ みつ のり
・ 前田光教 |
| かわ な よし ぞう
・ 川名善三 | まつ い まさ し
・ 松井精史 |
| たか さか じゅん こ
・ 高坂純子 | なか い すみ お
・ 中井澄夫 |
| やま もと ご ろう
・ 山本悟朗 | |

議会傍聴

6月定例会 150人
〔23年度累計 152人〕

夏本番「気持ちいい!!!」

楽しそうに水の中を歩く子どもたち

6月定例会—主な内容—

こんなことが決まりました	2～3
一般質問発言者	4
一般質問の内容について	5～9
議会の傍聴にお越しく下さい	9
常任委員会審査報告	10
行政視察報告	11
議会の動き	12



6月
定例会

こんなことが決まりました。

6月定例会を5月31日から6月27日まで28日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定及び人事案件などを含む議案7件を原案のとおり、可決・同意しました。

一部改正された条例

小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
緊急経済対策として実施し、平成24年3月31日までとしていた中学校3年生までの医療費完全無料化制度を3年間延長するよう改正。平成27年3月31日までとなった。

小野市開発事業に係る調整及び地域のまちづくりの推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
地方自治法の一部を改正する法律

が平成23年5月2日に公布され、「市基本構想」の策定根拠であった地方自治法第2条第4項が削除されたことによる引用条項を改正し、条文の整備を図ったもの。

主な議案

損害賠償の額の決定及び和解について

平成23年3月31日に発生した消防車両（水槽車）と普通乗用車との接触事故について、損害賠償の額を決定し、和解（示談の締結）するため。

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める（ア）
現委員の中家康博氏、光英肇明氏及び田村喜久子氏の任期が、本年12月31日で満了となるため、その後任として、中家康博氏、光英肇明氏を再任、河嶋律子氏を新たな委員として推薦するため。

土地の取得について

やすらぎ広場（葬祭場）整備事業用地とするため、土地を取得しようとするもの。

所在地 小野市敷地町（5筆）
面積 5,794㎡

補正予算関係議案

平成23年度小野市一般会計補正予算（第1号）

補正額 30,600千円 追加
補正後総額 19,350,600千円

平成23年度小野市一般会計補正予算（第2号）

補正額 198,000千円 追加
補正後総額 19,548,600千円

平成23年度 一般会計6月補正予算概要

一般会計補正予算の主な内容

今回の補正予算は、東日本大震災の今後想定される災害支援にかかる職員の派遣経費や被災地児童等の受け入れ経費（中学3年生までの医療費の無料化、給食費や学用品等）について予算化して対応するものです。また、白雲谷温泉ゆびかの22年度経常黒字額18,600千円を、将来の設備投資に備え基金に積み立てます。

この他に、今後の都市機能に不可欠なセレモニーホール（葬祭場）建設に向けた用地確保の見通しがついたことから、用地購入及び造成工事等の追加補正を行いました。

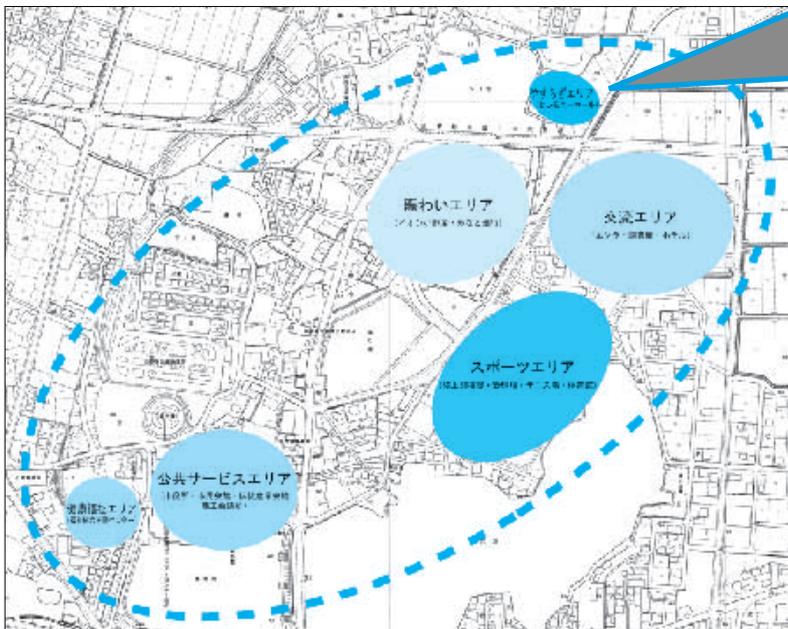
(単位:千円)

	内 容	補正額	補正後
新規	◆東日本大震災にかかる災害支援および被災者等の受入経費 災害支援にかかる職員の派遣経費と被災地児童等の受け入れ経費（中学3年生までの医療費の無料化、給食費や学用品等）	12,000	12,000
追加	◆白雲谷温泉ゆびかの決算確定に伴う基金積立金 将来の設備投資に備え、平成22年度経常黒字額を基金に積み立て	18,600	21,200
新規	◆やすらぎ広場（葬祭場）整備事業 用地取得、造成工事、実施設計、事務費等	198,000	198,000

補正総額 228,600



▲位置図



▲シビックゾーン





(浄土寺裏山 あじさいウォーキング)

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成23年 6月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

小林千津子 議員

- ・高齢者福祉について
- ・各地域の交流施設の現状について

加島 淳 議員

- ・さらなる「住みよいまちづくり」について

藤原 章 議員

- ・東日本大震災と小野市の防災対策について
- ・住宅リフォーム助成制度について
- ・公契約条例の制定について
- ・議案第40号 小野市福祉医療費助成について

- ・議案第44号 平成23年度小野市一般会計補正予算(第2号)について
- ・議案第45号 土地の取得について

前田光教 議員

- ・近隣自治体との連携施策について
- ・夢プラン2020おの総合計画(基本構想編)について

川名善三 議員

- ・市内の名所、旧跡等の管理について
- ・「買い物弱者」対策について
- ・地方版CSRの推進について
- ・学校施設の防災機能の向上について

松井精史 議員

- ・東日本大震災への対応について
- ・神戸電鉄粟生線について

高坂純子 議員

- ・東日本大震災における小野市の取組みについて
- ・学校給食のアレルギー対策や対応について

中井澄夫 議員

- ・救急救命士について
- ・小野市歌について

山本悟朗 議員

- ・市内交通網の整備について
- ・大規模災害に対する備えについて
- ・議案第44号 平成23年度小野市一般会計補正予算(第2号)について
- ・議案第45号 土地の取得について



市民クラブ
小林千津子 議員

高齢者福祉について

質問 「子育てするなら小野市」から、安心して「終の棲みかまで小野市で」と言われる福祉のまち小野市に、この思いから福祉サービスの現状についてお伺い致します。

答弁 超高齢社会に対応するための、社会基盤の整備として在宅支援サービス等を順次整えているが、最も重要なことは、高齢者自身が前向きな意識を持ち積極的に地域活動に参加していただくこと、そして、地域一体となった高齢者支援への取り組みではないかと考えます。(市当局)

各地域の交流施設の現状について

質問 各駅周辺4箇所の交流施設の現況と、今後の発展を大いに期待する上で小野市の支援についてお伺いします。

答弁 「地域コミュニティの拠点」「地元農産物を利用した地産地消の拠点

施設」です。それぞれ特徴をもった取り組みが行われているが、今後健康的な運営が行われるよう継続的に指導を行っていきます。(市当局)

質問 平成23年度に建設予定の浄谷地区の状況、そして、平成25年度に建設予定の下東条地区の状況をお伺いします。また、下東条地区は、現時点ではコミュニティセンターの一角という方向で検討との事ですが、道路沿いの場所に、小野市唯一の特産品の開発と販売も視野にいれた拠点施設を整備してはと思いますが、考えをお伺いします。

答弁 浄谷地区は、国宝浄土寺への来場者の休憩施設として24年度の春にオープン予定です。下東条地区は、地域拠点の整備を兼ねコミュニティセンター周辺に建設する案で検討中。下東条しかできないものと考え、地域一体となって取り組み、大きな未来への挑戦として、もう一ヶ所整備してリンクできないかも検討していきます。(市長)



改革クラブ
加島 淳 議員

さらなる「住みよいまちづくり」について

質問 「神戸電鉄粟生線活性化協議会」はどのような取り組みをされたのか。

答弁 平成22年からの取り組みは、「割引率80%のシニアパスの発売」「企画切符専用の自動販売機の設置」「小野駅西口に「パークアンドライド駐車場の整備」「神戸の小学生延べ1,500人を招き、田植え等々の農作業の体験」など、多くの事業を実施してきた。今後はこれらのイベントに加えモビリティマネージメントによる効果的な利用促進事業を中心に取り組んでいく。(市当局)

質問 西環状線(片山町から葉多町に抜ける市道107号線)の改修計画は。

答弁 事業実施の重要性は十分認識している。住宅などの物件移転が必

要なこと、神戸電鉄の踏切拡幅が必要なことなどもあるが、費用対効果を検討し、地元の協力が得られた段階で事業を推進していきたい。

質問 災害に強いまち「おの」をさらに推進していくうえで「高齢者等地域コミュニティ活動拠点づくり事業」の果たす役割は。

答弁 この事業の活用で、より細かな情報がお互い共有されることにより、地震や水害など、いざという時に迅速な避難や救助に役立つと考える。(市当局)

質問 セレモニーホール建設とホテルの誘致は。

答弁 セレモニーホールは、建設用地取得にめどが立った。両施設の建設は、小野市の未来の礎を築くもの。また、知事に同意を得た警察署用地の先行取得の件もあり、よりスピード感をもってこのエリアを整備していきたい。(市長)



日本共産党
藤原 章 議員

東日本大震災と小野市の防災対策について

質問 東日本大震災を受けての対応として今後の支援計画を問う

答弁 受け入れ被災者の生活支援の対策を構ずる。人的支援では被災地のニーズに合わせた職員等の派遣を中心に長期的に支援していく。
(市当局)

質問 小野市の防災計画の見直しは

答弁 県が発表した小野市の震度予測が「6強」から「7」に変更された。本年度中に県の防災計画が見直されるので、その結果を受けて小野市の防災計画も見直す。
(市当局)

「住宅リフォーム助成制度」の創設について

質問 緊急経済対策として「住宅リフォーム助成制度」の創設について問う

答弁 国は、7月に打ち切る予定の住宅エコポイントに代えて、一般的なリフォームでも適用できる「新たな住宅ポイント制度」の導入を検討するとの事なので、国の動向を見守りたい。
(市当局)

「公契約条例」の制定について

質問 公共工事や委託業務の最低賃金を定める「公契約条例」の制定について問う

答弁 一地方公共団体で取り組むのではなく、「公契約法」として国レベルで取り組むべき課題と考える。
(市当局)

中学3年生までの医療費完全無料化制度について

質問 年限を切らず、安定的・恒久的な制度とすることについて問う

答弁 私が市長をしている間はこの制度は堅持する。ただし、今回の地震のように「想定外」の事態が起こる可能性も考えなければならぬ。
(市長)



市民クラブ
前田光教 議員

近隣自治体との連携施策について

質問 加西市との今後の連携について問う

答弁 加西市新市長からの要請もあり、良好な関係を築くため、第三セクターである北条鉄道の経営に協力する方向で検討したい。
また、小野市の給食センターは築44年が経過し、老朽化していることもあり、全中学校の学校給食実施を公約とする加西市新市長に対し、ひとつの案として、財政的にも節約でき、スケールメリットを生かした地産地消に貢献できる、両市共同で新たな給食センターを、移転検討中の兵庫青野原病院跡地に建設する提案を行った。今後、様々な可能性を探ってまいりたい。
(市長)

夢プラン2020おの総合計画（基本構想編）について

質問 目標年次2020年における計画人口50,500人に向けての取り組み、現状を問う

答弁 小野市は人口を「まちの活力のバロメーター」と捉え、「住むなら！やっぱりおの」を合言葉に人口誘致を図ります。一昨年の合計特殊出生率は、国の1・37に比して、小野市は1・46です。「中学3年生までの医療費完全無料化」の継続、脳科学理論に基づく「16か年教育」の展開、「北播磨総合医療センター」の建設、相談から支援に至るサービスを行う「小野市福祉総合支援センター」の整備、地域の絆を育む「地域活動拠点づくり事業」等を総合的に展開し、更なる魅力ある小野市を築きます。
(市当局)



公明党
川名善三議員

質問 市内の名所、旧跡等の実態とその管理について

答弁 浄土寺や神社、伝承も含め土地に付随した有形の文化財は343件把握している。又、埋蔵文化財は県作成の遺跡地図によると585遺跡となっており、市内には合計928件存在している。その内、国、県、市の指定になっているものは、その根拠法令により保護が図られているが、指定されていないものについては保護していく法令はなく、所有者により個人や町の管理となっていることから、市として一般的な管理基準やルールはない。この為、将来的には保護できず、消滅することも想定されることから、国において指定されていないものを観光資源、地域資源としてまちづくりに活用する為の調査や保存活動への補助が検討されつつある。

(教育長)

質問 「買物弱者」対策について

答弁 少子高齢化、核家族化の進行により、日常の買物が困難な状況におかれている市民、いわゆる「買物弱者」がみられ、今後はさらに増加すると予想される。今後、買物代行や移動販売などのサービスを希望される方が増加することが予想される為、民間事業者やボランティアによる移動販売システムの構築、また、民間タクシーを利用した買い物おでかけサポート等の買物支援事業の実施なども視野に入れ、様々な手法について研究を進めたい。

(市当局)

質問 地方版CSRの推進について

答弁 企業による地域貢献活動は、市民力向上・企業力向上の源となるものであり、市としても応援すべきと考えていることから、認定制度の導入については産業界の意見を聞いた上でメリット、デメリットを含め検討したい。

(市長)



研政クラブ
松井精史議員

東日本大震災への対応について

質問 震災発生以降、災害支援に取り組みについて問う

答弁 これまでに消防職員、行政職員など延べ278人の職員を派遣しています。引き続き、関西広域連合兵庫県チームの枠中で、被災地のニーズに合った職員の派遣を行います。また、当市へ転居を希望される被災者には、生活支援対策として、中学生以下の医療費の無料化、就学等の支援、生活支援金の支給、就職の斡旋などを行います。

(市当局)

質問 震災発生以降、小野市はいち早く見舞金を送金したが、被災地では義援金・見舞金がなかなか被災者の手元に届いていない現状について

答弁 被災された県及び市町村が、行政機能や被災状況を判断した上で、

公正な立場で配分方法や支払い時期等を決定されるものと考えております。速やかに配分されることの大切さはよく認識いたしておりますので、東日本大震災兵庫県義援金募集委員会へ働きかけます。

(市当局)

神戸電鉄粟生線について

質問 存続に向けた沿線市等との連携と、収支改善の見通しが立たない場合の小野市の対応について問う

答弁 本年度、神戸電鉄粟生線検討会が設立され、北播磨地域における支援体制が確立された。市も引き続き維持存続に向け取り組みます。一方、神戸電鉄に関する経営改善努力等の情報の共有化を行い、その上で、自治体も経営改善に対し適切に関与し、経営体質の強化を支援したいと考えていますが、いずれは鉄道事業者自身による自主的な経営を目指す必要があると考えています。

(市長)



高坂純子議員

東日本大震災における取り組みについて

質問 5,000万円の災害見舞金の行方は。

答弁 宮城県に3,000万円、岩手県と福島県に各1,000万円を3月に全国市長会を通じて送金しました。(市当局)

被災児童受け入れ支援について

質問 被災地の小中学生を受け入れるホストファミリー制度のその後は。

答弁 宮城・岩手の被災自治体16市町に職員2名を派遣して、支援制度の周知活動を行った。被災自治体から深く感謝されたが、制度に慣れていない事などもあり申し出は無かった為休止している。(市当局)

学校給食のアレルギー対応や対策について

質問 平成22年5月時点での給食対象児童生徒4,683人のうち、約

8.02%が食物アレルギー対象者だが、最近の推移は。

答弁 平成19年度の対象者を100とすると、平成22年度は約150となり増加傾向です。(市当局)

学校給食についての対応は。

質問 別メニューは困難なため、対象物の除去や弁当を持参して貰う場合もある。食材表示の献立表を配布し、保護者・学校・給食センターが連携して対応。また、脱脂粉乳の使用中止や天ぷら油をなたね油に変更するなどの対策を行っている。(市当局)

老朽化した給食センターの今後は。

答弁 移転検討中の兵庫青野原病院跡地に、加西・小野両市共同の給食センター建設を提案した。今後は、相手方の事情もあるため、様々な可能性をじっくり検討していきたい。食物アレルギーを配慮した施設になるかどうかは、費用対効果等をふまえながら、視野に入れるべきと考えます。どう進化した給食センターを再構築するか考えていきたい。(市長)



中井澄夫議員

救急救命士について

質問 小野市における平成22年中の救急出動は1,816件であり、年々増加傾向であります。重篤な患者を搬送する場合、生命の危険性もあり、救急救命士の果たす役割は大変重要と思えます。そこで、①養成計画②資格及び内容③業務について伺います。

答弁 ① 30歳前後の職員を中心に現在27名が在籍。大学や専門学校を卒業し、救急救命士の資格を有して採用される職員などの年齢分布も加味し、計画的に養成しております。

答弁 ② 認定救急救命士制度は改正が重ねられ、平成16年7月に気管挿管が、平成18年4月には薬剤投与が、救命処置として追加された。認定救急救命士の救命処置が、救命率や社会復帰率を向上させている事例もあり、今後も積極的に養成します。

答弁 ③ 傷病者の病態を詳細に観察し、的確な判断に基づき、最適な医療機関に搬送することが重要です。特に重篤な傷病者は、救急活動マニュアルに基づき、専門的な観察結果等により、短時間で診療可能な医療機関へ搬送しています。(市当局)

「小野市歌」について

質問 小野市歌については、若い世代や市内小・中学生もその存在を知らない状況ですが、情操教育また郷土愛醸成の観点から、教育の一環として取り組み、各種学校行事において斉唱する等、未長く後世に継承すべきと思いますが、当局の考えを伺います。

答弁 大変大きな課題と認識しております。「多方面の意見を聞きながら、市民目線で原点に立って皆で考えましょう。」という、提言をいただいたと受け止めます。(市長)



研政クラブ
山本 悟朗 議員

市内交通網の整備について

質問 現在3台で運行されているらんらんバスの運行台数を増やすことはできないか。スクールバスとして利用されている傾向の高い路線バスのらんらんバスへの移行という方法を用いて、らんらんバスを増便することはできないかを伺います。

答弁 らんらんバスの運行に関しては柔軟に対応する予定であり、今後利用者への推移を見ながら、利用者の実態分析などを行ったうえで、バスの台数やサイズも含め必要な見直しを加えながら、最も効果的な運行を目指したいと考えております。

現在運行している3台のらんらんバスをさらに効果的に活用するため、スクールバスとしても活用できる方策などを、ワーキンググループ等で検討しています。
(市当局)

大規模災害に対する備えについて

質問 大規模災害に備えて、家庭、地域での備えについて現状を伺います。

答弁 8つの小学校区を順番に、年に一度、地域教育防災訓練を実施しています。

訓練の実施にあたっては、災害から人命を守ることを第一に、現場感のある体験型の訓練を継続実施しています。災害時要援護者の避難対応を含めて実施しています。
(市当局)

質問 加古川以西の地域においては、避難所とされている多くの施設が浸水想定地域に存在します。その対策について伺います。

答弁 生活関連物資の備蓄を含めた防災拠点の必要を感じています。一方で、自衛隊がある。日頃から地域力・市民力を高めることが、防災力の大きな根源です。
(市長)

議会の傍聴にお越しく下さい。

9月
定例会
日程

9月定例会は、下記の日程で開催いたします。

9月 2日(金) 10時～ 本会議(第1日) 21日(水) 10時～ 本会議(第2日)
22日(木) 10時～ 本会議(第3日) 30日(金) 13時30分～ 本会議(第4日)

○本会議の第2日(21日)、第3日(22日)は、議員の一般質問があります。
市長から提出された議案や、市政全般について一般質問を行い、市長及び市の幹部が答弁します。

傍聴者の休憩室を開設します

本会議を傍聴に来られた市民の皆さんに、本会議の休憩時間をくつろいでいただけるよう、議場の隣接会議室を利用して、休憩室を設けています。議場内の傍聴者席が満席の場合、休憩室でモニターによる傍聴となる場合がありますので、ご了承ください。

休憩室の設置は、一般質問のある21日(水)と22日(木)の2日間です。部屋には、セルフサービスのお茶も用意しています。



託児コーナーを開設します

9月21日(水)
9月22日(木)



○一般質問が行われる21日(水)、22日(木)の午前中は、「託児コーナー」を開設しています。就学前までのお子さんをお持ちの保護者の皆さんも議会を見ていただくことができます。ご希望の方は、9月13日(火)までに議会事務局まで電話でお申し込みください。

《各常任委員会に付託された議案》

◎総務文教常任委員会◎

- 議案第39号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第1号）
- 議案第42号 損害賠償の額の決定及び和解について
- 議案第44号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第2号）
- 議案第45号 土地の取得について

採決の結果、議案第39号、議案第42号、議案第44号及び議案第45号は、全会一致で可決すべきと決まりました。



◎民生地域常任委員会◎

- 議案第39号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第1号）
- 議案第40号 小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第41号 小野市開発事業に係る調整及び地域のまちづくりの推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について

採決の結果、議案第39号から議案第41号は、全会一致で可決すべきと決まりました。



6月定例会の提出議案審査付託について、6月23日に総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第39号から議案第42号及び議案第44号、議案第45号の6議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

常任委員会審査報告

常任委員会とは？

常任委員会は、地方自治法第109条の規定に基づき条例により設置されています。地方公共団体の幅広い事務を調査するため、本議会から付託された議案や陳情等の審査をします。

常任委員会行政視察報告

民生地域常任委員会 平成23年7月5日(火)～7日(木)

①静岡県袋井市

袋井市・掛川市統合病院の事務事業について

両市の病院統合が決まってから2年余が経過し、現在、平成25年春の開院を目指し新病院の建設準備を進め、本年7月には病院本体の建設工事に着手。

市民が期待する医療機能の充実や療養環境の向上は勿論であるが、そこで働く医療スタッフにとっても医療人としての誇りと働きがいがある病院として、その力が十分に発揮できるような施設整備、環境づくりにも全力で取り組んでいる。



②愛知県豊田市

防災行政無線について

平成16年11月の合併に伴い無線の統合及びデジタル化に対応することを目的に、市全域で統一的な防災行政無線を整備し、災害時等の迅速な情報収集や伝達体制を整えている。同報系無線として、①市役所から市民への情報伝達手段として、屋外拡声子局を市内に250局整備している。

自主防災訓練の支援は、地域の防災力を高めるために訓練用資機材や講師・指導者等の支援体制を整えている。



③岐阜県多治見市

大規模な行為の届出制度について

多治見市の特徴的な風景である斜面地の緑を保全するため、標高120mを超える場所での行為等を「風景に特別大きな影響を及ぼす恐れのある行為」とし、それぞれ色彩と緑化について基準を設定している。

みちくさマップ作成事業について

普段何気なく見過ごしてしまうまちのお宝を探し出し、マップに落とし作成することで、まちへの愛着が高まり住民主導のまちづくり活動が活性化するように展開している。



総務文教常任委員会 平成23年7月12日(火)～14日(木)

①富山県魚津市

市立図書館の運営について

魚津市立図書館は、平成17年度に開館。床面積が2,789㎡あり、1階に本や雑誌、視聴覚資料などの閲覧、貸し出しコーナー、2階には、学習室やボランティアルームなどを備え、生涯学習の場となっている。

展示会や講演会活動が活発に行われているほか、お話の会や図書館シネマ倶楽部などの自主事業も好評を得ている。



②石川県金沢市

学校教育金沢モデルについて

金沢市では、①学校2学期制、②世界都市金沢「小中一貫英語教育」、③学習指導基準金沢スタンダードに取り組んでいる。

学校2学期制は、ゆとりのある学習期間の設定のため、学期のあり方を見直し授業時数の確保により確かな学力の定着を図っている。また、平成16年特区認定を受けた小中一貫英語教育は、8年間の小学校英語活動の実績を基礎に小学校3年生以上に英語科を設け、独自のカリキュラムで実施している。さらに、子どもたちの学力状況に対応できるよう、金沢市は独自に学習指導基準「金沢スタンダード」を作成している。



③福井県越前市

地域自治振興事業について

越前市では、小学校区単位に地区住民を会員とする自治振興会（17地区）が組織され、地区住民自らが地区の将来像を考え、その実現に向けて地区住民が取り組む地域自治振興計画が策定されている。市は、自治振興会に対し、その計画に基づく事業推進のために地域自治振興事業交付金として、必要な経費の一部を一定のルールを持って交付している。1地区あたり年間400万円から900万円交付。



◎ 議会の動き ◎

【5月】

- 2日 議員初総会
- 6日 議員研修会
- 10日 会派代表者会
- 11日 臨時市議会
- 16日 議員研修会
- 18日 総務文教・民生地域常任委員協議会
- 20日 行政視察来市(鹿児島県指宿市)
- 21日 特別支援学校運動会
- 24日 議会運営委員会
 - ♪ 市議会報編集委員会
 - ♪ 議員互助会役員会
- 25日 小野市防災水防会議
 - ♪ 兵庫県市議会議長会総会(加古川市)
- 26日 小野ひまわり会総会
 - ♪ 小野市農会長会総会
 - ♪ 小野市遺族会総会
- 27日 加古川改修促進期成同盟会
- 28日 保健衛生推進協議会総会
 - ♪ (社)小野市シルバー人材センター通常総会
- 29日 青少年補導委員会総会
 - ♪ 青野原駐屯地創設35周年記念式典
- 30日 全国市議会議長会自治体病院経営都市会議(東京)
- 31日 本会議(第1日)
 - ♪ 北播政経懇話会

【6月】

- 2日 小野市観光協会通常総会
- 11日 小野市詩歌文学賞・上田三四二短歌フォーラム
- 14日～16日 全国市議会議長会総会(東京)
- 17日 議員協議会
- 20日 本会議(第2日目)
 - ♪ 議会運営委員会
- 21日 本会議(第3日目)
- 22日 民生地域常任委員会研修会
- 23日 総務文教・民生地域常任委員会
- 26日 女性団体連絡協議会総会
- 27日 本会議(第4日目)
 - ♪ 議員研修会
- 28日 兵庫県いちじく研究大会
 - ♪ 総務文教常任委員会研修会

【7月】

- 1日 北播磨総合医療センター企業団議員協議会(三木市)
- 5日～7日 民生地域常任委員会行政視察(袋井市・豊田市・多治見市)
- 6日 近畿市議会議長会支部長会議(大阪市)
- 8日 兵庫県市議会議長会理事会(淡路市)
 - ♪ 南北道路建設促進期成同盟会(加古川市)
 - ♪ 北播衛生事務組合議会(加東市)
- 12日～14日 総務文教常任委員会行政視察(魚津市・金沢市・越前市)
- 15日 全国市議会議長会理事会(東京)
 - ♪ 民生地域常任委員会研修会
- 19日 民生地域常任委員会研修会
- 21日 近畿市議会議長会理事会(大阪市)
- 22日 市議会報編集委員会
 - ♪ 小野市都市計画審議会
 - ♪ 交通安全対策委員会総会
 - ♪ 兵庫県市議会議長会総会(三田市)
- 25日 一般国道175号整備促進期成同盟会総会(西脇市)
 - ♪ 行政視察来市(備前市)
 - ♪ 民生地域常任委員会研修会
- 27日 総務文教常任委員会研修会
- 28日～29日 議会運営委員会行政視察(四日市市・野洲市)
- 30日 小野市ひまわり杯少年野球大会

第374回市議会定例会

150名の方が傍聴!!

～たくさんの傍聴ありがとうございました!!～

6月20日(月)21日(火)の両日は、議員の一般質問が行われました。

2日とも、議場に入りきれないほどの傍聴者にお越しいただき、第2委員会室でテレビ傍聴をお願いした方もあります。

今後も小野市議会では、開かれた議会をめざして一人でも多くの方の傍聴をお待ちしております。



◀ 満員の傍聴席

常任委員会研修会を 継続実施しています

5月の改選以降、小野市議会では、常任委員会の研修を継続して行っています。

市政の現状を把握し、議員の資質および議会としての監視機能の向上を目指しています。



▲ こだまの森グランドゴルフ場増設工事現場を視察する民生地域常任委員会の委員



▲ 小野市の教育施策について説明を受ける総務文教常任委員会の委員

自宅にいながら議会の傍聴



実施中!!

小野市のホームページからご覧いただけます。